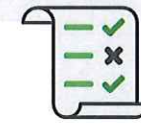


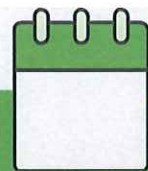


チェリー 通信1月号



目次

- イベント情報
- ○○先生のおすすめ！（お休み）
- 今月のきらびと
- クラス紹介



5日（月）仕事始め

8日（木）音楽教室

9日（金）楽天イベント

16日（金）避難訓練

20日（火）体育教室

23日（金）新入園児面接

27日（火）サッカー教室

28日（水）学年懇談会（0歳児）

29日（木）学年懇談会（1歳児）

30日（金）学年懇談会（2歳児）

今月のきらびと
今月はフリー保育者の坂本皓紀先生をご紹介します！



こうき先生は生き物博士！

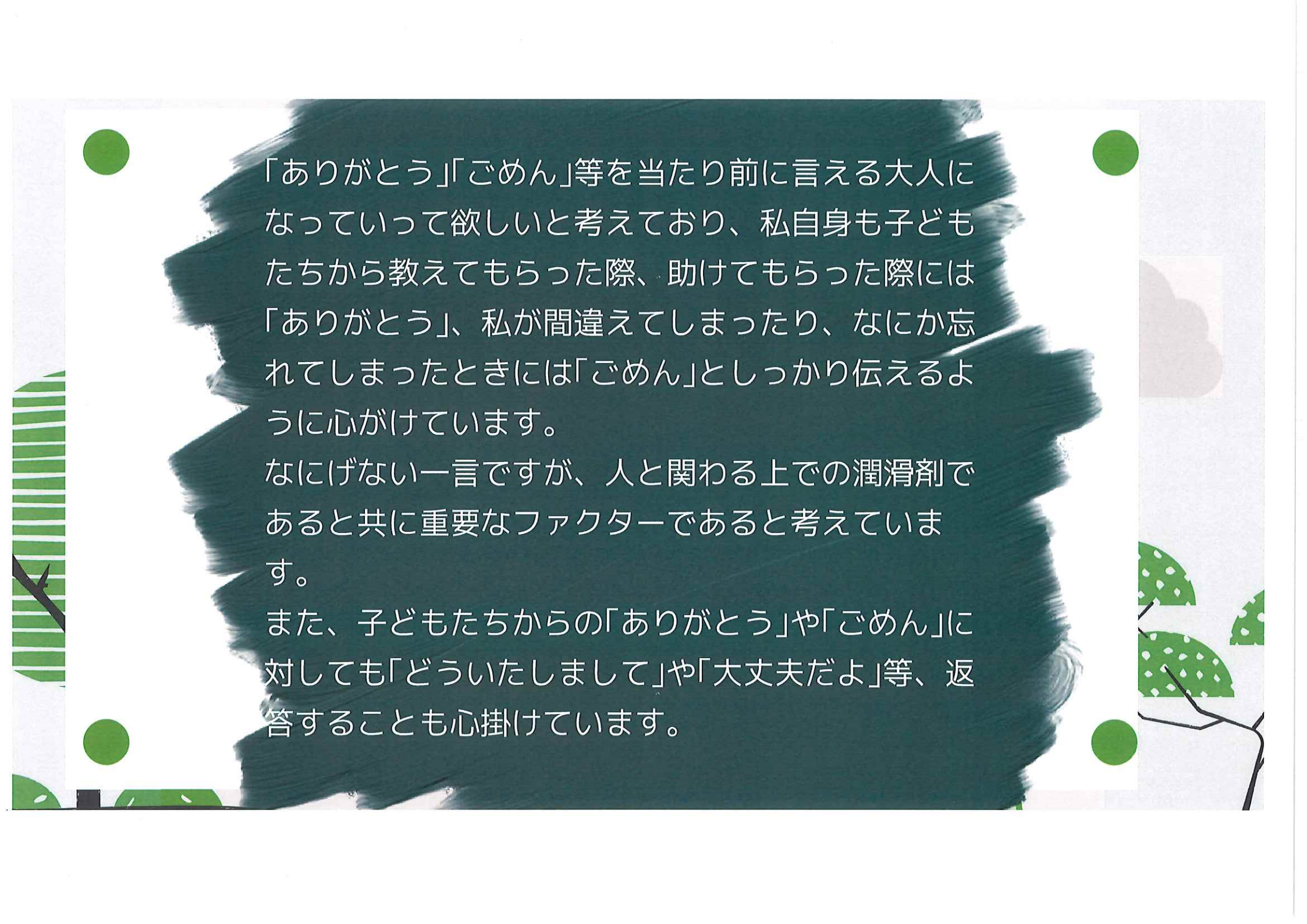
今回は生き物博士としての一面に
ついてお話を聞いてみました



保育者として大切にしていることは何ですか？

子どもたちの興味関心や疑問「知りたい」「やってみたい」「なんでだろう？」と一緒に探求し、掘り下げ、突き詰めていき、子どもたちの世界をさらに広げていきたいと思っています。





「ありがとう」「ごめん」等を当たり前と言える大人になっていった欲しいと考えており、私自身も子どもたちから教えてもらった際、助けてもらった際には「ありがとう」、私が間違えてしまったり、なにか忘れてしまったときには「ごめん」としっかり伝えるように心がけています。

なにげない一言ですが、人と関わる上での潤滑剤であると共に重要なファクターであると考えています。

また、子どもたちからの「ありがとう」や「ごめん」に対しても「どういたしまして」や「大丈夫だよ」等、返答することも心掛けています。

● “虫や小動物と言ったらこうき先生”というイメージがありますが、虫、小動物に対する想いなどありますか？ ●

虫や鳥、魚に両生類、爬虫類、そして我々人間、生物や命とひとえに言えども、大きさや形、生物としての仕組みやその営みは多種多様です。拡大解釈すると地球も一つの生物と言える程ですね。

その規模で見ると我々人間は豆粒よりもちっぽけで、他の生物と大差ないでしょう。

しかし、そう考えると何が我々を人間たらしめるのでしょうか。他の命を尊び、慈しむ感情、他の生き物との共存を工夫しながら図ろうとする創造性、他の命を脅かしてはならないといった道德観、他者と共に生きようとする社会性、それらを生き物たちに触れる度にそういった事を改めて認知し、探求したいと噛み締めています。



保育の中に水槽や虫ワゴンなどを取り入れようと思ったのはどんなきっかけや思いからですか？



手のひらに乗せたハムスターやインコといった小動物に、頬を寄せて嬉しそうに語りかける子どもたちの姿はいつの世も微笑ましいものです。

命あるものとの触れあいは幼児期、児童期において大切なことであることは言うまでもありません。





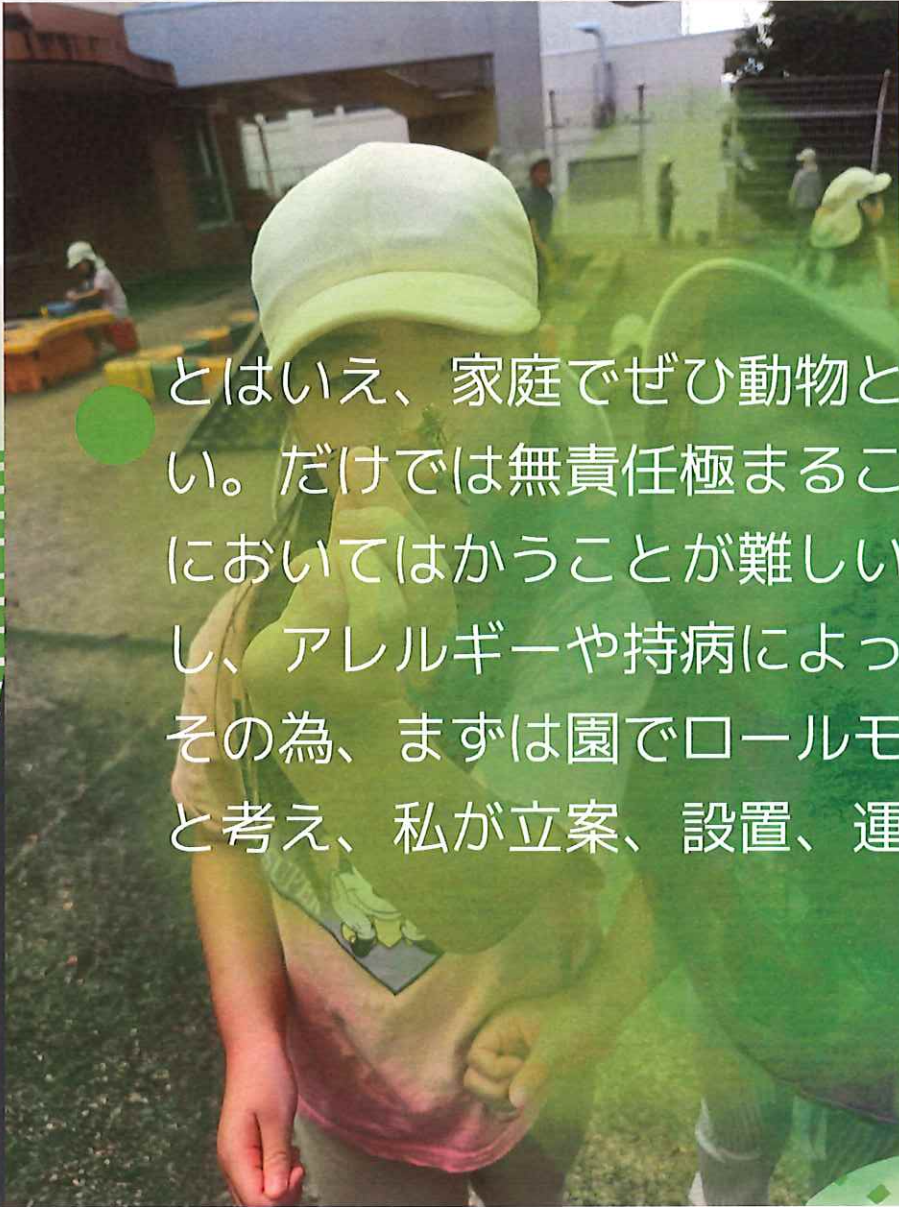
しかし、現代においては時に猫や犬、鳥類、ウサギが人間の手によって無惨な最期を遂げるというような痛ましい事件も耳にすることがあり、聞いた人々の胸になんともいえない痛ましさを残します。悲しみや不安、怒りを抱く方々も多いことでしょう。なぜそんな事をしてしまう人がいるのか、そこには「動物に触れないまま大人になってしまい、動物との触れあいを通した命が育つ仕組みを学ぶ、尊び慈しむ心を育めないでいる」という問題が大きいのではないかと思います。





責任をもって育て続けるということは大変なことです。餌やり、水換え、掃除、温度管理、怪我や病気の早期発見、手当てや治療、命を守る為に果たさなければならない務めは多岐に渡ります。だからこそ命を育てるという営みを通して身に付くことも多いのです。ものいえぬ動物たちの立場に立ち、物事を考えて推し量る、感じ取ろうとする感性の豊かさや思いやりも次第に培われていくでしょう。





とはいえ、家庭でぜひ動物と触れあって下さい。育てて下さい。だけでは無責任極まることです。マンションやアパートにおいてはかうことが難しいことも想像に難くありませんし、アレルギーや持病によって難しいこともあるでしょう。その為、まずは園でロールモデルを示していくことが第一だと考え、私が立案、設置、運営していく運びとなりました。

● 保育者として、虫や小動物博士として今後の展望や思いなど 教えてください ●



今現在、生き物たちのお世話はほとんど私1人で行っている状況です。多くの方が「こうき先生のむしむしコーナー」と認識されてるのではないのでしょうか。定着したと有り難く思っている反面、それは上記にある私の考えや思いからものはっきり申し上げて本来目指しているものとは程遠いものです。たまに餌やりだったり水が減っていたら足してくれたりとする子どもたちや職員もいますが、もっと深く子どもたちと生き物を繋げたいと思っています。その為には我々職員間、クラス間での連携はもとい、園としての取り組みに昇華していきたい所存です。





今月は二歳児クラス くじゃく座組

を
紹介します！！

★クラスで大切にしてきたこと★

- ・笑顔いっぱい個性いっぱいで笑顔が溢れるクラス
- ・やってみたいの気持ちを大切に色々な事に挑戦してみる

クラスでの取り組み

★晴れた日には戸外に出て身体を動かしたり
自然に触れる事を楽しんでいます！

★自分の衣服を畳んだり、着脱等、
身の回りのことにも積極的に挑戦中です！



絵の具遊びが好きなお友だちが多いので、
12月はグループ毎にクリスマスツリーを作りました 🌟

今回は筆を使って
色を付けました！



とってもかわいい
クリスマスツリーが
完成しました 🌲 🌟



キラキラのシールや
リボン等飾りを
付けて完成 ✨

